

当施設では2019年から看取り介護を実施しています。

それでは詳しくお話をします。

「身体が衰弱しても、できるだけ住み慣れた場所で過ごし、自然に穏やかに最期を迎えたい」。

こうした希望をかなえるため、メディケア梅の園では、

『看取り介護』を行っています。

これは、老衰や病気などが原因でご利用者様の心身が弱り、食事をとることができなくなるなどして、医学的に回復が難しいと医師に診断された場合、本人とご家族の意向があれば、医療機関等での延命治療を避け、ご自宅に近い環境を整えた施設の居室で、自然に安らかに最期を迎えるお手伝いをするものです。

『利用者様とご家族の気持ちに寄り添ったケア』は、私たちが普段から心掛けなければならないことです。そういう意味では、看取り介護は日常のケアの延長線上にあります。最期のお手伝いを誠実に務めるには、日頃からご本人とご家族の言葉に耳を傾けて、その気持ちを酌んでご利用者様に接することが必要です。日々の真摯な積み重ねの先に、「看取り」があります。

メディケア梅の園は、そんなケアを目指しています。

メディケア梅の園 職員一同

